



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No.5

2007.8.1 (No.2466)

第2560地区ガバナー／渡辺敏彦
 会長／荻根澤 隆雄
 会長エレクト／中村 和彦(クラブ奉仕A)
 副会長／菊池 渉(クラブ奉仕B)
 幹事／杉山 幸英
 S A A／浅野 金治
 会計／山田 富義

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押ししてください)

■本日の出席会員数:63名中47名
 ■先々週出席率:90.0%

【ゲスト】

- ・国際ロータリー第2560地区ガバナー 渡辺敏彦さん
- ・第4分区アシスタントガバナー 藤井三明さん

【先週のメイクアップ】

- [7.27] 吉田RCへ
・加藤紋次郎さん
- [7.21] 新世代奉仕合同会議へ
・成田秀雄さん



「ロータリーは分かちあいの心」

2007～2008年度国際ロータリーのテーマ



木槿 (ムクゲ)

会長挨拶

荻根澤隆雄 会長



ご挨拶を申し上げます。

さて本日は、国際ロータリー第2560地区ガバナー渡辺敏彦様をお迎えしての公式訪問例会であります。地区ガバナーの渡辺様、そして第4分区のAGであります藤井様、そして地区幹事の山本様、ご来会に感謝を申し上げます。

また、ご指導の程、どうぞ宜しくお願いを申し上げます。

そして、名誉会員の高橋様がお越しになりました。大変に有り難うございます。

さて、中越沖地震に見舞われた地域の方々のことを思いますと本当に心苦しかったです。先週の例会は本年度の親睦例会第一弾としての納涼例会が越前屋ホテルにて開催されました。今回はバイオリンとピアノ演奏をアトラクションにしての納涼例会でありました。

ご参加の皆さんは演奏に魅了され、酒に酔わないで音楽に酔った感じでありました。さすが三条クラブは音楽にも造詣の深い方ばかりと改めて感じさせられました。

船越委員長始め親睦委員の皆様、そして会場の提供をされました明田川会員のお陰で、大変に素晴らしい一時を過ごせましたことに感謝を申し上げる次第です。本当に有り難うございました。

また、一部の会員の方々より今回の演奏を今一度味わいたいとの感想も頂きましたので、クリスマス例会において会員家族をお招きした中で、再度に今回の演奏会ができたかと考えます。関係の委員会の皆様、宜しくお願いを申し上げます。

そんなことで今日は、スマイルBOXへのご協力が多くなるものと期待致しております。

挨拶終わります。ありがとうございました。

幹事報告

杉山幸英 幹事

◎渡辺ガバナー事務所より米山奨学生親睦交流会のご案内が届いております。

と き 9月1日(土) AM 9:45～

ところ 新発田市 清水園、北方文化博物館

◎渡辺ガバナー事務所より2009～10年度地区ガバナーノミニー決定のお知らせが届いております。

柏崎 RC 植木康之氏に決定

ニコニコBOX

渡辺敏彦ガバナー

本日は三条RCの公式訪問です。

よろしくお願い致します。

荻根澤隆雄さん

今日はガバナー公式訪問例会です。

よろしくお願い致します。

渡辺喜彦さん

ようやく待ちに待った夏の到来です。

本日は、渡辺ガバナー、藤井AG、山本地区幹事さんご苦労様です。

渡辺勝利さん

渡辺ガバナーのご来条を歓迎申し上げます。ご活躍をお喜び申し上げます。

佐野勝榮さん、菊池 渉さん、五十嵐 力さん、高橋一夫さん、石月良典さん、武田真二さん、加藤紋次郎さん、明田川賢一さん、松永一義さん、西山徳厚さん、五十嵐晋三さん、平原信行さん、伊藤寛一さん、斎藤弘文さん、佐藤 武さん、日戸平太さん、杉山幸英さん、野崎喜一郎さん、捧 賢一さん、五十嵐寿一さん、成田秀雄さん、樺山 仁さん、五十嵐昭一さん、小林敬典さん、小越憲泰さん、渡辺 稔さん、石橋育於さん、外山雅也さん、山田富義さん、船越正夫さん、米山智哉さん

渡辺ガバナーを歓迎して。

8月1日分 ￥38,000

今年度累計 ￥210,000

渡辺ガバナー公式訪問

講話

第2560地区ガバナー 渡辺敏彦 様



皆様こんにちは。歴史と伝統のある三条ロータリークラブに公式訪問をさせていただきます。大変楽しみにしてまいりました。それというのも今年の4月、創立50周年という大きな節目の記念式典をあんなに立派にやられた歴史あるクラブはどんな雰囲気があるのだろうかということでした。心からお祝

いを申し上げる次第です。

実は、今から9年前に富山富一パストガバナーと一緒に地区幹事としてお邪魔をしておりました。私はその時、藤田説量パストガバナーの隣にちょこんと座り、記念写真を撮って頂いたのが、50周年の記念誌に載っております。その時の幹事さんが西山さんで向かいにいらっしゃいます。その公式訪問も早いもので9年前、アッという間に経ってしまいました。また、こちらのクラブからは勿論藤田パストガバナーが諮問委員として、また、成田秀雄さんがローターアクト委員会の委員長ということで式に出ていただいて後見いただいております。誠にありがとうございます。

私の方はこうやってこちらのクラブにお邪魔しておりますが、人生の先輩方も多数いらっしゃいますし、また50年という歴史を刻んだクラブでございます。私どもの新潟南ロータリークラブはまだ48年でございます。先輩クラブでいらっしゃるの指導などという大袈裟なことではなくて、私の今迄歩んできたロータリーの歴史の中で思うところをお話させて頂ければ有り難いと思っている次第でございます。

まず自己紹介から申し上げます。昭和22年の生まれでございます。所謂、団塊の世代の生まれで、それこそ戦後アメリカからジープ、ヨーロッパからミニスカートが入ってきた世代でそれを着こなした世代です。丁度今年が年男でして還暦で60歳でございます。私どもの新潟南ロータリークラブの口の悪い知り合い、友達に私のことを南方系、ベトナム、カンボジア出身と呼んでおりますが正真正銘新潟市生まれの新潟市育ちでございます。その頃の年代の御多分に洩れず東京の大学へ行きまして、東京で暫く暮らしました。偶々フランスへ行く機会が有りまして2年程フランスへ行ってまいりました。日本に戻ってまいりました時点でフランス語の通訳の資格は取ったのですが、新潟で通訳として暮らせる筈も無く別の事業を丁度30年前にスタートさせて頂きました。スタートさせて頂いた時のパートナーは池田という人間でございますが、ご存知の方も多数いらっしゃると思います。私どもの学校法人新潟総合学院の院長でもありますし、アルビレックスの会長と

言ったほうが、よくお分かりの方もいらっしゃると思います。2人で30年前にスタートをさせて頂きました。2千万円の借金でスタートし、お蔭様で順調に発展させて頂いて、現在に至っております。資料の裏に私どものグループの教育事業・医療福祉事業ということで参考までにこんなことをやっておりますということを掲げさせて頂いております。専門学校が28校と大学、それから専門職大学院、高校は開志学園高等学校という高校でございまして、この前、卒業生の若林舞衣子がお蔭様でゴルフの女子プロテストに合格いたしました。新潟からの女性のプロは初めてだと思います。ぜひぜひ応援をして彼女が活躍をしてくれればいいかと思っています。他に、学習塾と各種スクールをやらせて頂いております。医療福祉事業としては、資料に書いてありますように愛宕福祉会ということで現在やっております。

30年前に帰ってきて事業をやりましたので、その頃は髪ももっとふさふさとしておりました。これはDNA、遺伝子のせいでしょうか、父親から引き継ぎましたので髪の毛は現在かなり無くなっておりません。ロータリーに入りましたのが26年前、つまりNSGをスタートしてから4年ほどでして、ある人の紹介で入らせて頂きました。その時は34歳でございました。池田は私より2歳年下なのですが、彼は青年会議所に入りました。その頃彼は32歳で入っておりましたので、同じ所に入るのもなんなのでどうもロータリーという所があるらしい。じゃあロータリーに入ったらと言われ入りました。それから26年経過しております。入りました時は、当然最年少でございまして、それが10年位続きましたでしょうか、ロータリーに入らせて頂いたところ、皆さん先輩方なのです。色々な先輩がいらっしゃるしまして、本当に勉強になりました。しばらく新潟を離れていて、戻ってきて教育事業からスタート致しましたので、人脈も勿論ございませんでしたので、人脈という意味でも本当にありがたかったですし、色々なことを教えて頂いて走りながら仕事をしていたので、多くの知識をロータリーの諸先輩から授かったということと、色んな人間関係を持たせて頂き、お蔭様で人間的にはまだ小さいですが、かなりなものを頂いて成長することができたかなと思っています。そしてまた、もう1つはどうしてもロータリーに行く時間を作らなくてはならないので、そのためにどうするかということ、言わずもがな社内でナンバー2・ナンバー3を育てることです。自分の代わりに仕事をしてくれる人間を育てないとどうにもこうにもなりません。そういう事もやらせていただいたことが社業発展に繋がったかなと思っています。

したがって私は新しくロータリーに入る方、入りそうな候補者がいた場合、「ロータリーに入ると必ず社業が発展します。」という風に申し上げて誘っている次第でございます。

そんな中でロータリーの綱領というものがあ

りますが、これは正に奉仕の機会として知り合いを広めること、という風に書いてありますが、それを私が実践できたのかなと思っています。

先程も申し上げましたが、私がロータリーで深く関わった先輩の方で親程年齢が違う方が富山富一パストガバナーでございます。1998年～99年のパストガバナーです。良寛様の心はロータリーの精神に通じるところがあるのではないかと思います。ロータリーの精神は超我の奉仕ですが、良寛様もそれに似た考え方を持って子供達を指導したのではないかと思います。そのことをテーマに、富山パストガバナーは新潟と群馬の両方で当時98クラブを公式訪問されました。途中9月頃腰痛が非常に激しくなり、新潟市の勝見医院に1週間ほど入院されました。見舞いに行きましたら、公式訪問も何クラブか断っていたところだったのですが、「渡辺君、私は手術をして脚が動かなくなっても車椅子で公式訪問を全てするから、そのつもりでいるように」という話でございました。幸い手術までに至らず、ブロック注射を25本うたれました。注射を打つと1～2時間は横になっていないと駄目なのですが、そうやりながらも98クラブの公式訪問を終えられました。78歳という年齢でございましたので、なかなか大変な難行苦行だったのではないかと思います。しっかりと新潟南ロータリークラブの名前を背負ってやるのだということでもやられました。私はその時地区幹事でございましたので、公式訪問以外の様々な采配を振るわせて頂き無事おわることができました。終わりましたから、毎年のように「渡辺君、君はガバナーになりたまえ。今度は君の番だ。ガバナーになってくれ」とおっしゃいました。毎年言われていましたが、最初は私も「そんなガバナー」と冗談をいって矛先をかわしておりました。そのうち「私の目の黒いうちにガバナーになりたまえ」という言葉が付け加えられました。4～5年前から更に付け加えられた言葉が「万が一の時には葬儀委員長をやって欲しい」という話でございました。最初はこちらも実感が無いものですから「わかりました。その時にはやらせて頂きます。」と気楽にお話をしていたのですが、あまりに毎年言われるものですから、つい私も「富山パストガバナー、そう言われても亡くなられた時にはご遺族のお考えもありますし、色んな状況もありますからね」と、ぼろりと言ったのです。そうしましたら翌日、新潟南ロータリークラブに入っておられる息子さんから電話があり「親父が葬儀委員長を渡辺さんにやって欲しいと言っているので、ぜひYESと返事をしてください。」と言われ、「それでは分かりました」とお答え致しました。その富山パストガバナーは今年の2月25日に亡くなられました。2月23日は何の日かご存知ですよね。ロータリーの創立記念日でございます。ロータリーの創立記念日に毎年新潟市内の7クラブは合同例会を行います。合同例会をやっている時お酒を飲んでいましたが、今

そこに居ます当時新潟南ロータリークラブの会長の山本幹事に廊下に引っ張り出されました。そこでガバナーになってくれませんかというお話がきました。それは、神成パストガバナーの方から、実は予定としては新潟ではなく、上越方面などからガバナーという話があったらしいのですが、なかなか決まらず去年の2月までずっと、もうすぐ中條ガバナーが始まるという時期で、まだ中條さんの次が決まっていなくて新潟に話がきたということでした。神成パストガバナーが新潟の会長を集めた中で話され、山本会長が「それならうちの渡辺がいます」といわれ、その日口説かれました。その場ですぐに答えはできませんでしたが、その当時既に富山パストガバナーは入院されておりまして。受けようかなと思いましたがそれには手続きや幹事も決めなければなりません。「山本会長、幹事になってくれ。山本会長が幹事になってくれなければ私は受けないよ」と脅かしたものですから、彼が今日ここに座っている次第でございます。そんな流れがありましてガバナーを引き受ける羽目になったわけでございます。残念ながら富山パストガバナーには話す時間の無いままにその2日後に亡くなられました。富山さんの意志通り葬儀委員長をさせて頂いて、御前に報告申し上げました。ロータリーの巡り合わせでこんな風な形になっております。私は国会議員でも県会議員でも何でもないのですが、葬儀委員長をロータリーのガバナーと幹事の関係でやらせて頂いたのは、大変な名誉で光榮に思っております。ロータリーで知り合っただけでそんな風にもなれるのだということを考えますと、ロータリーの素晴らしさを強く感じています。私も26年も入会をしていますので、一つの恩返しという意味もありましてガバナーをやらせて頂くことを決めました。

今年の1月27日から2月4日まで国際協議会がありました。ロザンゼルスから車で2時間のサンディエゴで一週間、朝から晩まで缶詰になり、ロータリーの「いろは」から「ロータリーは何故素晴らしいか」ということを徹底的に頭の中に吹き込まれてきました。大変ではありましたが、大変面白かったです。まさにRI、ロータリー・インターナショナルここにありです。ロータリー・インターナショナルとはつまり、530人のガバナー候補が世界中から集まってくるのです。そのパートナーも一緒に付いてきます。その中には64名の女性のガバナー候補がいます。530人中の64人ですので1割以上女性がいます。日本からは34地区34人行ったのですが、その中に日本から初めての女性ガバナー田中稔子さんがご一緒でした。三重と岐阜地区のガバナーで、幼稚園の理事長です。国際協議会に行くと「人間が変わる」と言われています。過去のパストガバナーの方々も皆さんお変わりになったと思うのですが、私も変わったのでしょうか。「必ず人が変わる」と「ロ

ータリーの活動に一生懸命になる」それだけの仕掛けと動機付けを持っているのがロータリーですよ。そう思います。今年度のテーマが「ROTARY SHARES」と1日目に発表になりました。「ロータリーは分かち合いの心」英語でもそのまま我々にも理解できますよね。この1週間は私にとって大変面白く過ごさせて頂きましたが、一番大変だったのは、1週間も同じ部屋で家内と過ごすことでした。皆さん想像してください。

地区運営方針として、今年度ぜひこういう方針でやらせて頂きたいと資料に書かせて頂きました。まさに今、我地区にはこれが一番ふさわしいと思ったからです。「ロータリーを楽しく。地区（新潟）を元気に」。会員もこのところ減ってまいりましたが、中條年度で三条東ロータリークラブができ40名増えたのが新潟地区では大きかったです。おそらく、まだ最終結果は出ておりませんが、8月1日号の月信に書かせて頂きましたが、5月一杯迄は100名増強で日本一でした。6月末で最終的にどうなったかは結果が出ておりませんが、多分日本一になったのではないかと考えているところです。34地区中の一位・日本ナンバーワンというのは素晴らしいことです。

ロータリー財団、米山奨学金に関しても数字で出るわけですが、色々の全国会議で質問がありますかといわれると手を挙げるのは西の方の人か南の方の人でございます。大した質問ではないケースが多いのですが、とにかく手を挙げて何かを聞くと言うのは西・南の方の人。新潟県人はほとんどそういう時になると手を挙げません。ただ、どうですかと指された場合はきちんと意見を持っているということもあります。また行政でも、中央官庁から〇〇プロジェクトの参加募集があった場合も、大概20番目とか30番目とか、下手をすると40番目とかで、最初には飛びつかないのが新潟県人です。ロータリーではどうでしょうか。数字として最も分かりやすいロータリー財団、米山奨学金で日本ナンバーワンとして貢献するというのはどうでしょうか。我々の地区が日本ナンバーワンになったら皆さんどんな風に考えられるでしょうか。他の方々はどう考えられるでしょうか。そういうものを我々ロータリーで挑戦したらいいかがかなと思って、お話をさせて頂いている次第です。そうは言ってもロータリーには様々な事情があるかと思えます。皆さんのロータリーに対するポジションやスタンスもそれぞれ違うとは思いますが、自己ベストを今年度出して頂くことを心からお願いを申し上げて、一年間「ROTARY SHARES」、「ロータリーを楽しく、地区（新潟）を元気に」ということでやらせて頂ければありがたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

公式訪問



各位委員さんより報告がありました。

懇親会のようす



三条ローターアクトの活動

《活動報告》

- ◆ 7月29日(日) 6:00～7:00
朝清掃 (三条市役所栄庁舎周辺にて)

《今後の活動予定》

- ◆ 8月9日(木) 19:30～21:00
三条ローターアクトクラブ8月第一例会 (リサーチコア4階異業種交流プラザにて)
例会テーマ「未定」
- ◆ 8月11日(土) 19:30～21:00
中越分区合同意見交換会 (リサーチコア4階異業種交流プラザにて)
- ◆ 8月23日(木) 19:30～21:00
三条ローターアクトクラブ8月第二例会 (リサーチコア4階異業種交流プラザにて)
例会テーマ「三条ロータリークラブに卓話を依頼」

<ゴミ拾い活動報告書>

三条ローターアクトクラブ
地域貢献委員長 川口 直人

日時：2007年7月29日 午前6時～午前7時

場所：三条市役所栄庁舎周辺

参加者：佐藤(俊)、高橋、丸山、桜井、中野、木口、長谷川、川口 以上8名

7月29日日曜日、今期第1回となるゴミ拾い活動を栄庁舎周辺で行いました。今回は、前日行われた「栄ふるさとまつり」の後片付けに参加するという形でのゴミ拾いとなりました。当日は天候が心配されましたが、雨も止み無事行うことができました。

栄商工会からは30人ほどが集まり、若い人たちは祭りで使った機材の後片付けを、年配の人たちは打ち上げ花火の燃えカスを拾いに行きました。私たちアクトのメンバーは二手に分かれ、栄庁舎・商工会館の周りを1時間ほどかけて清掃しました。

回収したゴミは、ビニール袋4～5袋に収まりました。主なゴミはタバコの吸殻、空き缶などでしたが、お祭りの翌日とあって、爆竹や容器も若干見られました。ゴミを拾い終わった後、商工会の方からお茶をいただきました。

今回のゴミ拾い活動では、早朝にもかかわらず多くのアクトメンバーが参加してくれました。毎月のゴミ拾い活動は4年目を迎え、今では三条ローターアクトクラブの伝統になりつつあります。これからも休むことなくゴミ拾い活動に邁進していきたいと思えます。

また、栄商工会の人たちの活動を垣間見ること、多くの人たちのおかげで楽しいお祭りができるのだということを知りました。栄商工会の皆さん、本当に有り難うございました。

次週例会 8月15日 休 会

次々週例会 8月22日 外部卓話

